

自殺を防ぐために

Home | 自殺予防 | うつ病について | 相談窓口一覧 | [こころのドクターのひとりごと](#) | 各種パンフレット | リンク集

こころのドクターのひとりごと

星を継ぐもの

ずいぶん昔、郡部のある高齢者施設で働いていた看護師さんに聞いた話である。彼女は長く都市部の総合病院で最先端の医療に携わっていた。病院では、多くの人の死に出会った。命を救いたいと懸命に働いてきた。

いまの施設で、ある男性高齢者の命がそう長くないとわかったとき、彼は病院に入院することを勧めても断り続けた。あなたのそばで逝きたい…それが男性の願いだった。彼女はそばに最新の医療機器も延命の機械もないことで戸惑った。彼女は自分の手をみつめ、思った。私には、まだこの手がある。命の灯が消える日、ずっと手を握り続けた。最後の瞬間、力を失っていたはずの彼の手から何かが伝わってきたように感じた。たくさんの人に出会ってきたはずなのに、初めて死にゆく人をおくることができたと思った。医療って何だろう？命って何だろう？結んだ手から伝わってきたものこそ、命なのだと思ったという。

それからしばらくたったとき、私は初めて、彼女に重い障害をもつ子どもがいることを知った。彼女の手はしっかりと子どもの小さな手を握りしめていた。未来に続く大切な命がそこにあった…。

by 精神保健福祉センター所長
(精神科医)

